

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通規制課長 岸 哲夫 電話番号 0852-26-0110(代)

事務事業の名称	交通管制システム整備事業	
目的	(1) 対象	県民（運転者及び歩行者など道路利用者）
	(2) 意図	交通管制システムの整備を推進し、交通の円滑と快適性を向上させ、道路利用者の安全を確保する。
事業概要	県民の生活がより安全で快適なものとなるよう、リアルタイムな信号制御、交通情報の収集・提供並びに交通管制システムの高度化を図ることにより、交通環境の改善を図る。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	交通渋滞発生時間	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				式・定義	県内交通渋滞ワースト10交差点における平日1日の300m以上の交通渋滞発生時間の延べ総時間	目標値	1,340	1,270	
			実績値	1,766	1,687	1,183	926.00		
			達成率	74.10	106.90	122.90			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値	0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00				
			達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	129,371	151,199
うち一般財源(千円)	85,446	50,845

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県内交通渋滞ワースト10交差点における渋滞発生延べ時間は、25年度1,183時間であったが26年度は926時間となり減少している。
 ・国道9号東出雲町地内の交差点のワースト1が続いている状況にある。また、主な路線である国道431、485号にあっては渋滞時間と交通量には大きな変化は見られなかった。
 ・26年度ワースト1は、国道9号 五反田交差点で300m以上の渋滞発生時間と交通量（7～19時）は、平成25年度：235分 18,083台、平成26年度：139分 18,111台であった。
 また、国道431号 穴道湖大橋北詰では、平成25年度：101分 33,159台、平成26年度：100分 32,823台、国道485号 くにびき大橋南詰では、平成25年度：129分 34,964台、平成26年度：122分 33,801台であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・25年度と26年度の尾道松江線を比較すると交通量は増加しているが、松江市や出雲市の渋滞時間に大きな変化は見られない。これは、交通管制システムの高度化事業や信号制御等の調整に取り組んだ結果、交通の円滑化における成果があったものと考えられる。
 また、交通事故等による交通障害発生時には、ドライバーに対する交通情報板、カーナビによる情報提供や、日本道路交通情報センターからのテレビ、ラジオ放送、電話問合わせに対する情報提供も渋滞解消に繋がっているものと見られる。
 ・実績値：平成25年度：1,183 → 平成26年度：926
 ・目標値：1,200 → 実績値：926

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・国道9号や穴道湖大橋、くにびき大橋における渋滞が慢性化している状況にある。また、尾道松江線が全線供用により、夏休み期間や行楽シーズンには観光客の増加に伴う渋滞の発生が懸念される。
 ・現時点では少ないが、今後、管制システムの老朽化に伴う機器障害の発生が懸念される。

②困っている状況が発生している「原因」

・道路改良等により変化した交通流に対する信号秒数等の調整が追いつかない。
 ・管制システムの老朽化。

③原因を解消するための「課題」

・交通の安全かつ円滑化を図るための信号秒数等見直しの推進。
 ・計画的に更新をおこなっているところであるが、更なる予算確保による計画的更新の推進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・交通管制センターから信号制御可能な管制エリアの拡大、信号秒数等の見直しを推進すると共に交通管制センター中央装置の高度化や中央表示板の計画的整備、また、これら設備における維持管理の徹底により安全で円滑な交通流の確保を図っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）